

ライブラリーニュース6月号

笠岡商業高校 図書視聴覚課・図書委員会



2011.6.16 発行

うっとうしい梅雨の季節ですが、体調を崩してはいませんか？
図書室ではたくさんの本とともに、みなさんの来館を待っています！！読書に自習にリフレッシュにと大いに活用して下さいね。
さて6月号では、図書委員オススメの本を4冊紹介したいと思います。

図書委員オススメ！ ☆☆☆ 映画の原作本 ☆☆☆



『神様のカルテ』 夏川 章介 著

夏目漱石を敬愛し、妻・ハルさんを愛する栗原一止は、信州にある「24時間365日対応」の本庄病院で今日も勤務中！常に生と死に直面しながら、最良の医療を模索する個性豊かな人々が織り成すヒューマンドラマです！

夏に映画が公開するので、ぜひ見てください。
※ 監督/深川栄洋、主演/櫻井翔 2011.8 公開



『ランウェイ☆ビート』 maha 著

(運命の出会い。それは突然だった——)
メイのクラスにやって来た転入生・溝呂木美糸ー通称・ビート。彼を中心に皆が変わって行ったり、学校でのイベントでクラスが団結したり…

涙あり、恋や友情、大きなキセキも！！
今春映画化された話題作です。ぜひ読んでみてください。
※ 監督/大谷健太郎、主演/桜庭ななみ 2011.3 公開



第57回 青少年読書感想文全国コンクール

【課題図書】紹介♪

今年度はこの3冊です！！

→『野川』 長野まゆみ 著

『マルカの長い旅』 ミリヤム・ブレスラー 著

『光が照らす未来—照明デザインの仕事』 石井幹子 著

図書室にありますので、ぜひ読んでみてください。

『化物語』 西尾 維新 著



本書は、21世紀初頭の日本の田舎町を舞台に、阿良々木暦が怪異と関わった少女達と出会い、その怪異にまつわる事件を解決していく物語です。

文化祭の準備をしていた5月のある日、2年間ろくに会話すらしたことのない級友の秘密を知ってしまったことから物語が始まります…

シリーズの『花物語』等も図書室に置いてあるのでぜひ読んでみてください。

※ 監督/新房昭之、声/神谷浩史

『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』 岩崎 夏海 著



この本は企業経営・クラス運営も家庭運営にも全てに通じるマネジメントの本質がわかりやすく簡単に書かれています。ドラッカーは難しい…という人にもオススメ。

現在映画公開中の話題作です！！

※ 監督/田中誠、主演/前田敦子 2011.6 公開

※6月号は2年生図書委員が担当しました。

井上 愛子・高森 芹香・住谷 夏美・多賀 奈津美

♪♪♪ 新刊・新着本案内 ♪♪♪

総記000

『これからスマートフォンが起すこと』



哲学100

『運命だからって、あきらめない!』 上田 麻結
『渋沢栄一 100の訓言』 渋沢 健
『渾、シンプル片づけ術』

歴史200

『日本を創った12人』 堺屋 太一

聖徳太子から近現代まで、今なお日本に影響力を残している12人を紹介。日本資本主義の父・渋沢栄一も取り上げられています!!



社会科学300

『なぜ今どきの男子は眉を整えるのか』

『ハッピー★女子ワーク図鑑』
『インテリアコーディネーターの仕事につきたい!』
『資格図鑑』

→上記3冊は図書室内の進路関連コーナーに置いています



自然科学400

『太陽活動の謎』

技術・工学500

『正しいパンツのたたみ方-新しい家庭科勉強法』 南野 忠晴

家庭科はこの社会の中で他者ととも生きていく力を育ててくれる教科だ!! ご飯の作り方、時間の使い方など、自立にあたって必要な知識や技術を教えてくれる1冊です。

産業600

『帝国ホテル サービスの真髄』 国友 隆一
『新しい農業の風はモクモクからやって来る』
『いぬ』『しばいぬ』 岩合 光昭

文学900

『左手一本のシュート』 島沢 優子
『園芸少年』 魚住 直子
『英雄の書』 宮部 みゆき
『復讐したい』 山田 悠介
『ラブ・ケミストリー』 喜多喜久
『しくじり姫』 ゴマブツ子
『花物語』 西尾 維新
『涼宮ハルヒの驚愕』 谷川 流

高校入学式の3日前、県下No.1のバスケット選手の少年を、脳出血という悲運が襲った。もうバスケットは無理...絶望の底の彼は...感動の実話です!!



〇〇〇 授業より 〇〇〇

2年生現代文授業の取り組みのひとつとして、朝日新聞『岡山歌壇』に短歌を投稿しました。
今回は2Aが投稿し、4作品が新聞に掲載されました。

降る雨に意味はないって知らんふりは沈む気持に比例した嘘 : 山下祐実

「明日の予定は?」と聞いてくるから答えたら数分後にまた聞いてくる : 田林花純

黒板をチョークの文字が埋めつくす私のノートは白紙のままだ : 山下沙織

君がいて自転車を押す帰り道このまま今が続いてほしい : 浅野恭平